

東菜畑2丁目防災部(自主防災会)とは? ~事務局発足の背景~

2026.01.05

自主防災会事務局長(4班) 坂口 直明

1. はじめに

まず坂口が何故3年目も、班長とかでもないのに「防災部(自主防災会長の影武者事務局)」継続して引き受けているか?ですね

4月の役員会のあと「防災部」メンバで集まるときに、最初に口火を切る予定ですが、3年前坂口のところに約20年ぶりに「自治会副班長」がまわってきた2023年度に、さかのぼらないといけません。今後「防災部」にかかわって頂く方々に、東菜畑2丁目自治会 自主防災会の課題。そして、今現場で何が起きているのかを認識頂きたく、整理してみました。

2. 自主防災会長対応(2024年度)と事務局発足の背景

2023年度副班長が20年ぶりくらいに、拙宅にまわってきました。ちょうど今年度の久山さんのように、年2回の集金が中心で、家内が対応して終わる段取りでした。ここでお送りしたPDFファイル手元で見ると、わかりやすいです。

3班が部長(Sさん)+部員(鹿野さん:副班長)4班が副部長(臼杵さんだが会計なのでなし)+部員(坂口 家内)で鹿野、坂口は「防災部長 Sさんがいるから、その指示でやればいいや。どうせ部長さんしかお手当出ないし(笑)」の認識でした。

が...このSさん。前任の防災部長からの引き継ぎ物を持ったまま一切顔を見せず。でも一斉清掃とかには、熱心に出てきて一輪車押してはるんです。

「仕方がない。コロナ渦で、2019年以降 自主防災活動やってなかったから、今年もやったようにみせかけて、市役所にポーズかな?」2023年はそうやってお茶をにごしましたが。2024年は、坂口が班長で防災部長なので、このときに自分では作戦をたてていました。「引き継げないのに、部長なんてできない。かわりにやってくれるなら任す」その家内コメントで、2024年は、私がまきとりました。

「6年前防災部長(YMさん)&副部長(SKさん)に同席してもらって、策を練りましょう」会長 井上 良作さん

(9 班)、副会長 井谷さん(14 班)の顔はたてないといけないのでまずは顔合わせ。

6 年前と同じことを、義務的に「避難訓練」「炊き出し」「安否確認」やろうと主張する SK さんに対して「防災減災取り組みは、有事の際に人命を守るために、実践的なことをやるべきで、まず意識啓蒙活動と有事のときに直接役立つことを」の私。

—————途中の議事は省略しますが—————

会長、副会長から「阪神淡路も能登半島地震も直接当事者の坂口さんに、有事の際に本当に生き残るために必要なことをやってもらおう」

「具体的なやり方は、任せてもらえますか？」

に、了解を頂いたので。過去のしがらみは必要なくなって、以降の打ち合わせは YM さん SK さんなしですすめてきました。

2024 年度 自主防災会長として、生駒市役所や関連する部門、世間の動きをみると、確かに 2023 年の 3 班防災部長 S さんが「こんなもんでけへん」と言いそうに見えました。ただ、大きな災害を走り抜けてきた自身にとっては、「防災・減災に正解はない」の信条があるので、まずはやってみるで進めました。

- ・IKOMA サマーセミナーからの「防災減災研修」企画と運営
- ・ハード面で液晶プロジェクターと管理パソコン導入
- ・情報共有基盤の「東菜畑 2 丁目自治会 ホームページ」立ち上げ
- ・奈良県主催講座受講による「防災士資格」取得
- ・東菜畑 2 丁目自主防災会会則 全面見直し

等々。防災部 部長として年間活動に対応し。年度末に「来年度は 5 班 三木さん 班長&防災部長だが、よければ単に部長を引き継ぐのではなく、事務局としてアドバイザーで残りたい。」

と申し出て「自主防災会事務局長」を名乗るようになりました。

3. 今後の「防災部(自主防災会)」の進め方について

当面は、毎年分担でまわってくる防災部長さんに対して

【パターン1】市役所など対外含めて自分でやってみる

【パターン2】事務局で出してもらったものを検討してすすめる

選択頂くことにしました。

これを受けて 2025 年度(今年度) 5 班三木さんは、後者を選んで頂いたので、事務局がバックで“”防災大臣“”をサポートする動きになっています。来年度 9 班 中川さんも、(基本線は)三木さんと同じ路線です。その先 2027 年度は、久山さんが防災部長です。

その際には、パターン1および2、どちらを選んで頂いても構いません。ただし、どんなに久山さんが防災部長をがんばって頂いたとしても、2028 年度 10班は「防災部」ではなく「体育部」担当になってしまいます。

このあたりは 1 年ごとでシフトするのでやむをえないのですが。その課題の一部を解決できると思って、自ら会則を全面見直しして、自主防災会事務局を作りました。

4. 2026 年度(令和 8 年度)「防災部(自主防災会)」取組計画

2026 年度の防災部(自主防災会)の活動内容や、投資(経費)計画などは、これから検討ですが。

1)実践(実戦)に即した避難訓練

…単に全員小学校へ歩くというスタイルでなく。個々人に即した取り組み。

2)防災・減災研修(Version3)

…3 期目にあたって、コンテンツの「追加」「見直し」を実施

3). 平時からの情報共有、コミュニケーション活性化取組

…東菜畑 2 丁目自治会 公式Lineグループ(含むリッチメニュー)立ち上げと
運用中ホームページとの連携

ここらあたりを中心に、防災部メンバからのヒアリングもふまえて計画してゆくようにします。

5. 防災・減災「5つのヒント」

最後に。2024 年自主防災会長になって、能登半島地震を当事者としてふりかえった時点でまとめた、この5つのヒント。これをぜひ「自分事」として実践いただきたいと思っています。

★本日のまとめ★(これだけは覚えて!!!)

自然災害から大切な命を守る 「5つのヒント」

- ・寝室には「寝具」「非常持ち出し貴重品」以外を置かない
- ・「そこにあるものでやる」「そこにいる人でやる」
「人」も「もの」もないときは自分で集める努力をする
- ・誰に対しても「感謝の気持ち」を持ち続ける
- ・すべてがだめなときにも、絶対に最後まであきらめない
- ・自分の「好き」「得意」を使って、自分そしてすべての人の「命」を守る

5

最後まで読んで頂いて、ありがとうございました。

以上